

No. 1021

企業
zoom up
アビリティ

御社の「情報システム担当」業務を
お任せください

「ITトータルケアサービスを謳う以上、お客さまとFace to Faceの関係でいることを重視しています」と、自身と会社のポリシーを語るのが、アビリティ（株）代表取締役社長・飯島隆充氏。理路整然と丁寧話すなかにも、会社経営に対する熱い思いがにじみ出る。リーマン・ショック後の低迷期を乗り越えた飯島氏の目には、未来を見据えた強い力が宿っていた。

アビリティは1978年4月にコンピュータ機器の販売及びメンテナンスなどを目的として、先代で父である飯島文雄氏が設立。かつては大手システムインテグレータの一次特约店として、大型汎用コンピュータやパソコンなどの販売が中心だったが、現在は「ITトータルケアサービス」と称する企業内情報システムの課題解決やシステム運用サポートなどのコンサルティング事業が主軸となっている。

「ネットワーク社会が発達している昨今ですが、システム部門に人材を置けない中小企業が多くなっています。当社がそうした会社のシステム担当者としてサポートします」（飯島氏）

様々なデータがクラウドやサーバー上に溢れ返るなかで、中小企業の情報資産を守る上でも、専門知識を持った人材が必要不可欠だが、それを企業が自前で用意するのは難しい。そこをサポートするのが当社のITトータルケアサービスだ。

飯島氏は、「IT部門は間接部門であり、かつ人手不足ですから、中小企業にとってはアウトソースするという選択も、コスト面で非常に有効です」と話す。

この他、同社の特徴的な事業に「ITエンジニ

「サポートサービスは1カ月単位でご利用いただけますのでお気軽にご相談ください」と話す飯島社長



ア養成スクール」がある。自前のエンジニア養成機関であり、卒業生は同社以外へも就職している。「大学や専門学校が会社を起こしたら、その会社の人材育成に特化したカリキュラムで学習させることができ、その会社はすごく強いだろうな」と思い、じゃあやってみよう！とスクールを立ち上げました。会社にはどうしても定期的な血（人材）の入れ替えが必要です。またその血を“作る”ことも大切だと考えています」（同氏）。人材の流動性が大きいIT業界で、無理に人を定着させるのではなく、どんな人材でもその能力を発揮できる環境を用意しておく、というのが飯島氏のスタンスだ。このスタンスが、結果的に多様で豊富な経験を持った人材を揃えることに繋がっているという。

二代目として、この数年で新たな地盤固めが進んだ。斬新な“人材活用”術で、一歩先の未来を掴む。

（取材・文／東京支社情報部 箕輪 陽介）

会社概要

アビリティ（株）
 TDB企業コード：988356826
 法人番号：3010001000433
 東京都千代田区神田司町2-8-3、電話03-6866-7400
 代表：飯島 隆充 氏
 設立：1978年4月
 資本金：5000万円
 事業内容：企業情報システム
 コンサルティング
 年収入高：約4億9000万円
 (2019年3月期)
 従業員：60名
<https://ssl.ability.co.jp/>

